

平成26年度 第1回学校評議員会記録

日時：7月17日（木）18:30～

1. 学校長あいさつ

2. 学校の主だった内容

- (1) 運動会
- (2) 分かる授業
- (3) 安心・安全な学校

3. 評議員の方からのご意見

参加評議員

大岡	記代	様
三浦	修	様
藤岡	匠	様
永井	幸男	様
角子	美晴	様
柏木	由紀	様
廣岡	真理子	様

平成26年度 第1回学校評議委員会記録

《学校長あいさつ》

《運動会》藤井より

今年度の運動会は、新校舎建設に伴い春に実施しました。

まず季節が春ということで、涼しい中で練習に取り組みました。しかし、雨も多く練習が計画通りに進まない場面も何回かありました。それに加え保健行事、校外学習、新体力テスト、プール清掃など行事が詰まっている中での練習は、児童に負担も大きく、特に高学年はあわただしい一学期となりました。本番は残念ながら急な大雨で途中中止となりましたが、保護者の冷静な対応のもと引き取りがうまくいきました。本校は人数が多いため放送が聞こえにくいなど、不便をおかけしましたが速やかに行動していただいたこと感謝しております。しかし、二日目の連絡がスムーズに行えずご迷惑をおかけしました。どのような事態にも、スムーズに伝達が行えるよう見直しが必要です。また、伊川谷小学校の現状として、年々増える学級数に伴い練習場所や練習時間の確保が難しく、一つ一つの演技時間も長くなっています。来年度の運動会

は、新校舎建設の関係もあり、秋に実施する予定です。児童数は今後も増加する見込みです。運動会当日児童の集中力を向上のためにもプログラムの見直しが必要な時期です。児童が主役の運動会です。保護者綱引きの時間を、児童の演技の時間に加えるなど工夫ができるのではないかと考えています。

最後に、はじめての春の運動会でしたが、PTA・保護者・地域の方々のご協力のもと無事に終えることができました。ありがとうございました。

《分かる授業》杉本より

5月に児童対象にアンケートを行いました。その結果を職員で考察し気になった点について、話をさせていただきます。

まず、「就寝時間」についてです。10時を過ぎてから、寝る児童が多く高学年になるほど遅くなる傾向があります。これは、「テレビやゲーム、パソコンの使用時間」とも比例しています。テレビやゲームをしすぎると夜更かしになり、起床時間が遅くなります。そうすると朝食を食べる時間がなかったり、エネルギー不足のため挨拶ができなかったり、学習への集中力の低下につながったり、と睡眠不足は学校生活に大きく影響します。また「学習の用意をいつしますか。」に対しても、高学年にいくほど、学習の用意をすぐにしていない児童が増えています。時間の余裕がない中で学習の用意をすると、忘れ物に繋がるという悪循環がうまれているのではないかと考えます。家庭と連携して、児童の生活時間の見直しが必要だと感じております。つぎに、「一ヶ月の読書冊数」です。ほとんど本を読まない児童が各学年三割近くいます。本を読む児童と、読まない児童の二極化が進んでいます。学校では「朝の読書タイム」を充実させたり、各教室に学級文庫を置いたりしています。本が身近なところにあり、いつも本を手元に置くように指導を続けていきます。「学校の授業が分か

りますか。」には、入学間もない1年生は実施しておりません。どの学年も、9割近くの子どもが分かる」と回答しました。しかし、教師側としては本当にそうなのかなと感じたのが素直な意見です。児童の感覚と教師の実感が少しずれているのではないかと感じました。研修などを行い、日々の授業を改善し、全員が「分かった」と自信をもって言える授業ができるようにこれからも教師力を高めていきます。最後は「学校生活の中で、周りの人から信頼されていると思いますか。」という質問です。信頼されていない、どちらかといえば信頼されていないと回答した児童が多くいました。道徳の授業に取り組む中で、自尊感情を高める活動を仕組んでいこうと考えています。

《安心・安全な学校生活全般から》高橋より

交通安全課から発信されています「交通かわら版」に目を通すと、6月末現在、神戸市では82件の交通事故が発生し西区小学生に関しては20件弱含まれています。大人ももちろんのこと、児童一人一人が気をつけなければいけません。12月には、交通安全教室を実施し児童に意識付けをおこなう予定です。INA すみれ応援団を地域に浸透させていくためにも、見回りの際、黄色のベストを着用することで、大人の目の数を増やし事故のない地域になればと考えています。

また、ここ数年、問題にあがっておりますスマートフォンのLINEアプリについてです。安易に色々な人と繋がってしまい、他校とのトラブル増加にもなっています。学校では、情報教育の実施を来年度計画しています。

最後になりましたが、子供と保護者と教師（学校）の「ほうれんそう」の徹底をし、これからも安心・安全な学校づくりの認識に尽力していきます。

《評議員の方からのご意見》

・INA すみれ応援団の黄色いベストを着用している人を、登校時よく目にします。遠くからも目立

っています。有難いです。

・ベストが導入されて4年目になりますが、PTAとすみれ応援団の活動が盛んであるとは言えません。かといって小学校さんにこれ以上の負担は、かけられません。では、だれが指揮を執るのかというところが大切だと思います。

・INA すみれ応援団以外にも何かないものかと考えています。他校では、ゴミ出しの日にそのまま立ち当番というボランティア活動もあるそうです。

・登校時は、ボランティアの方々のご協力もあり多少大人の目がありますが、とくに下校時において学童の子供たちが心配です。

・他校では、門を出ると親の携帯に知らせがくるチップ内臓の携帯を子供に持たせるという取り組みがあるそうです。ただ子供の動きがよく分かるという反面、故障や門を通過しなかった場合などトラブルもあるため心配のたねが増えたという意見も聞きました。

・スマートフォンは、学習に繋がるアプリを取って学力向上になるのは嬉しいことです。しかし、LINEのグループなど自分の気持ちとは別に外に広がっていくのは怖いです。学校で指導してもらえると家庭でも言いやすいです。

・学校からでる宿題は「やらなければ。」とっているようです。習い事で帰宅が遅くなっても頑張っています。国語・算数の宿題に限らず、自主的に取り組めるような、社会や理科の自由プリントがあると家庭学習にも繋がるのでは思います。

・学校の工事は夏祭りが、終わって始まると聞きましたが子どもたちのストレスがたまるのではないのか心配です。（工事期間中休み時間には体育館を開放するなどの対策を考えています。）

評議員の方々、貴重なご意見ありがとうございました。

